

河口と干潟内の大きさの違い

■河口と干潟内での成長の差

今月もイシガレイの稚魚は干潟内では2匹しか採集できなかった。干潟内で場所を変えて採集を試みたが、採集できたのは前回と同じ場所のみであり（採集場所についてはレポート86号Fig.1参照）、稚魚の多くは七北田川河口域で成長していると考えられる。

table.1は今年採集したイシガレイの全長の推移を示している。順調に成長しているように見受けられるが、平均全長はこれまでの調査で最も小さい（table.2）。

2014年以降、イシガレイの平均全長が小さくなっているが、その年から干潟内での稚魚の採集数が減少している。2013年までは干潟内で多くの稚魚を採集できていたのだが、2014年からは干潟内ではわずかしか採集できず、河口域が採集の中心となっている。

採集数は少ないが、干潟内の個体は河口域の個体より大きい傾向が認められる（table.3）。Fig.1は河口域で採集した個体で平均よりやや小型の3.0cmの個体である。Fig.2は干潟内で採集した個体で全長は7.0cmである。今回の調査において干潟内で採集したもう一匹のイシガレイは6.0cmで、ともに平均より大きく2013年までの6月の平均全長に近い値である。

流れがあることによる運動量の増加、餌や水温など様々な可能性が考えられるが、干潟内と比べ河口域では成長が遅れるのかもしれない。



Fig.1 河口域で採集したイシガレイ



Fig.2 干潟内で採集したイシガレイ

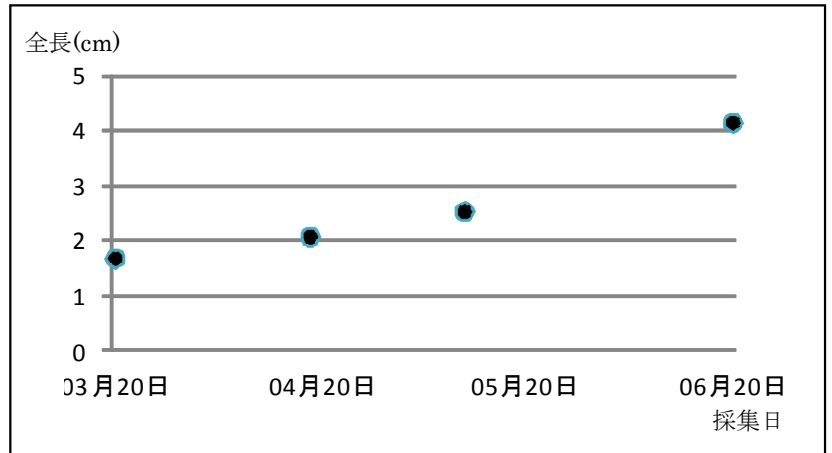


table.1 2015年イシガレイの全長の推移

採集日	6月の平均全長
2011年6月14日	7.2cm
2012年6月21日	7.8cm
2013年6月7日	6.7cm
2014年6月22日	5.6cm
2015年6月20日	4.2cm

table.2 6月に採集したイシガレイの平均全長

	3月	4月	5月	6月
干潟内での採集数/全採集数	1/23	1/32	2/41	2/22
干潟内を除いた全長の平均(cm)	1.7	2.0	2.8	3.8
干潟内で採集した稚魚の全長(cm)	2.5	3.5	3.5 4.0	6.0 7.0

table.3 2015年全採集数のうち干潟内で採集した数と全長